

家庭教育学級「織姫☆彦星キャンパス」講座レポート

家庭教育学級 10月学習会

令和3年10月15日

今回の講座は、暮らしの中の経済的な課題である金銭教育や消費生活支援を目的に活動されている一般社団法人グリーンワークス円縁の倉掛彩子先生を講師にお迎えし、「子どもの心を育てるお金の話」をテーマにお話しいただきました。



家庭における金銭教育はとっても重要で、おこづかいは、家庭でできる金銭教育のひとつになります。おこづかい制の経験をしていない親にとってどのように子どもに教えていくべきか、先生ご自身の実践体験を交えて分かりやすくお話しいただきました。まずは、積極的に買い物を経験をさせることだそうです。小さいうちは、お買い物ごっこで役割を知ること。お金の役割として、モノと交換することができる(買い物することができる)、ものさしとして価値を表現できる(価値をはかるものはお金)、蓄えることができる。お金がわかってきたら、約束して現金で買い物実践。他人のモノ、自分のモノを教える。モノを大事にすることは金銭教育の第一歩になります。大事なのは、親がお金(現金)を使うところを子どもに見せること。



定額のおこづかいには、選択力を伸ばす力があるとのこと。考え、消費する体験をすることによって、今買う/あとで買う/買わない選択を子ども自身に考えさせ体験させること。定額制おこづかいを導入するにあたっては、子どもの性格やタイプを見極め、今できることから始めるようにします。おこづかい帳の役割として、まずは書くことから、予算化とやりくり、親子で振り返ります。親子のコミュニケーションにも繋がります。この時、親は子どもを信じて見守り、口出しをしません。少ない金額からスタートし、徐々に範囲を広げていきます。

おこづかいペースとして、小学生は学年×100円、中学生は学年×1000円、高校生は年齢×1000円。その子自身の成長に合わせて管理してみましょう。お金のかけ方は、それぞれの家庭で違うので「うちはうち！」と伝えるようにしましょう。その子の価値観、今できることを大切に、失敗や間違いから学べることもたくさんあるので、大人の視点で評価しないように気を付けること。本当の学びは体験からだとお話しいただきました。これからおこづかいを考えるうえでとても役立つ時間となりました。

【参加者の声】

- ・おこづかいをどうすれば良いか考えていたので、勉強になりました。
- ・小学一年生の息子に、お金の動きを見ていきたいと思いました。そうすることで、物を大切にできる気持ちやお金の大事さを考えるきっかけになればいいなと思います。
- ・お金を通して、コミュニケーションを取る大切さ、ルールを決めて、守り、見守ることの大切さを改めて感じました。

家庭教育学級「織姫☆彦星キャンパス」講座レポート

家庭教育学級 10月学習会

令和3年10月28日

今回の講座は、西九州大学非常勤講師であり臨床心理士の「ブロッコリー先生」と吉村春生先生を講師にお迎えし、「心がかぜをひくとき～安心感と自立～」をテーマにお話しいただきました。

佐賀弁も飛び出すユーモアを交えて、笑いあり、時にはハツとさせられながら最後まで釘付けで、あっという間の2時間でした。先生の教員時代に子どもたちと向き合った時の体験や先生ご自身の家庭のエピソードなど織り交ぜた内容で、人の心の働きや心の育ち、子ども理解について分かりやすくお話されました。



心を構成する3つの要素である「思考」「感情」「行動」のメカニズムについての説明があり、人間はみな不安な生き物であること。不安・怒り・悲しみ・つらさといった負の感情が無意識の中に蓄積されてしまうと、思考や行動がフリーズしてしまいます。ため込んでしまったら吐き出さないとヒステリーを起こしたりします。負の感情をクリーンアップするには、遊ぶこ



とや夢中になれるものをもつことだそうです。そして、不安の反対は、安心感です。安心感は心のエネルギーとなります。心のエネルギーをためるには甘えることです。言葉にならない言葉は涙で語り、涙の中に言いたいことが全部詰まっています。また、子どもの特性についても話をされ、きちんと理解し、その子に合わせて良いところを引き出すことが大事だということ。子どもには甘えさせてくれる存在が必要で、子どもが自立に向かうには安心感(心的エネルギー)のチャージが大事だということでした。また、笑顔でいること、スキンシップをとること、共感すること(話を聞いてあげること)、評価しない言葉かけをすることが大切です。安心感の必要性を十分に感じた内容でした。安心感が必要なのは子どもだけではなくお母さん自身も同じだということ。お母さんの笑顔こそが子育ての原点にあります。親子共に安心感を育む大切さを学べた貴重な時間となりました。



【参加者の声】

- ・自分の子が出す小さなSOSに気づくための材料をいろいろ教えていただけたのが良かった。
- ・安心感のポイントが分かりやすかったです。自分で自分をほめる子どもを育てたいと思いました。
- ・全てこれから心掛けたいと強く思える内容でした。しっかり子どもが甘えられる環境を作っていきたいと思います。
- ・先生のお話が楽しくてあっという間の時間でした。